



# うむさの教育

第1(創刊)号  
令和4年4月28日(木)  
発行者：校長 岡越 猛

名護特別支援学校第21代校長として、4月1日付で赴任してきました岡越猛（おかごしたけし）です。

本校が所在する地名から校長便りのタイトルを取りました。昭和51年開校の長い歴史を持つ本校の教育についての情報発信していきます。

本校の教育理念「なかよく げんきに ほがらかに」を職員が一丸となって児童生徒の成長を、保護者とともに喜びにつなげられるよう努めてまいります。

## ☆令和4年度スタート☆

4月7日(木)に、本校の就任式及び始業式がありました。今年度も、コロナ感染症の影響下にあり、全体が集合しての式ができませんでした。(各学部で実施)

本校には、35名の新職員と、小学部に4名の転入生がいます。3週間が経ち子どもたちは、既に学校にも慣れ元気に活動していることに大きな期待が膨らみます。

また、始業式での高等部生徒代表の挨拶は、物怖じすることなくとても立派な発表であり、感動を覚えました。

## ☆令和4年度入学式☆

4月11日(月)に中・高等部の入学式が挙行され、中学部には15名、高等部には25名の新入生が本校における学校生活をスタートしました。

幼・小学部は、職員のコロナ感染症の感染拡大により忸怩たる思いで、入学式を4月15日(金)に延期せざるを得ませんでした。入園・入学を心待ちにしていた、保護者は元より子どもたちには、本当に申し訳ない思いでいっぱいです。幼・小の新入生は、保護者とともに式に参加し、一人一人を呼名して、入学を祝えたことは校長としてだけでなく、教員生活としても強い記憶として残ります。

## 新しい教育が始まります

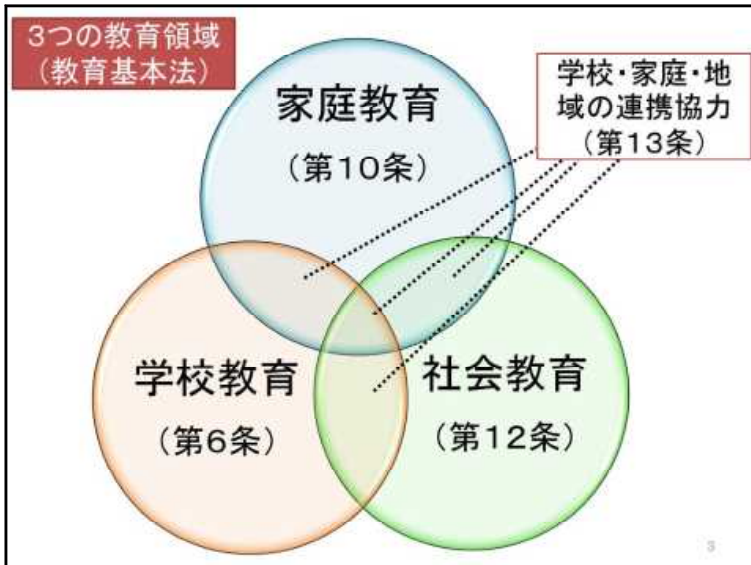
令和4年度、本校は沖縄県教育委員会教育課程研究校としての指定を受けることになりました。

2030年以降の新しい時代を見据えた新たな学校教育としての「令和の日本型教育」の在り方や、平成29年に改訂された学習指導要領に基づいた、これまでの特別支援学校における「生活中心」の教育から大幅な改革を受け、「教科等を中心」とし知的に障害のある子においても、各教科等で示された目標や内容の履修及び習得を目的とした教育の在り方についての実践的な研究となります。

既に実践されている部分もあります。それは、**幼・小学部でのTPOに応じた服装で学校生活**を送ることです。これまで、特別支援学校では、体育着や作業着で学校生活の大半を過ごすことが多かったのですが、社会生活や家庭生活等につながらないとの意見も多くありました。

着替えは、日常生活に必要な要素ですが、教育のほんの一部分です。子どもの学びは多種多様で各教科で整理されています。本年度の本校の新しい教育(挑戦)にご期待下さい。

難しい話になりました、用語等や新しい資質・能力等については裏面を参照下さい。また、教育改革にご理解とご協力をお願いします。



### 社会参加・自立 社会人を育てる

#### 文部科学省が定義する「生きる力」とは？

新学習指導要領では、生きる力を「知・徳・体のバランスのとれた力のこと」と表現。

##### ①知＝確かな学力

基礎、基本を確実に身につけ、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力

##### ②徳＝豊かな人間性

自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性

##### ③体＝健康・体力

たくましく生きるため健康で過ごすことや体力をつけることなど

#### 「生きる力」を身につけるための3つの資質・能力（通知表等評価）

##### 1.知識及び技能(各教科等)実際の社会や生活で生きて働く力

基礎的・基本的な知識を学びながら、社会におけるさまざまな場面で活用できることを目指しています。身につけた技能を自分の経験などと関連づけ、いろいろな場面で活用していこうとすることで習熟した技能となっていきます。

##### 2.思考力、判断力、表現力(各教科等)未知への対応力

問題の解決方法を考える時にはまず結果を予測し、次の問題発見・解決につなげていきます。そして、自分の考えを持ち、文章で表現したり、お互いの考えを伝え合ったりして、グループでの考えをまとめます。

##### 3.学びに向かう人間性等(各教科等)学んだ事を生かす

主体的に学習に取り組み、感情をコントロールして、客観的にとらえる力は大切です。また、**他人を尊重し、互いのよさを生かして協働する力、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりがあることは重要な要素となります。**

※従来の特別支援学校の生活中心の教育にはなかった、各教科等を中心とした教育への転換により、従来の「日常生活の指導」や「作業学習」等が本校の時間割や教育計画から無くなる予定です。だから、体育着で学校生活することがなくなります。

### 【日本の教育の形】

教育基本法（家庭教育）第十条  
父母その他の保護者は、子の教育について**第一義的責任を有する**ものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。とありますが、子どもの教育は個人競技ではなく、団体競技とよく言われます。ですから、**家庭と学校が協力連携することが重要**です。

### 【学習指導要領って？】

「生きる力」を育成するために示された、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文科省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準です。およそ10年に一度改訂され、これを基に子どもたちの教科書や時間割が作成されます。ここで、注意するのは教育内容であって、行政サービスの部分ではないことです。

### 【教育課程(カリキュラム)って？】

学校教育の目的や目標を達成するために、教育内容を子どもの生活年齢や心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画。特別支援学校の場合は、これに支援計画・個別の指導計画等も含める。

左図の指導の3観点（3つの資質・能力）による指導計画と学習評価が今回の、学習指導要領から求められており、沖縄県においても、**通知表等の学習評価をこの3観点で評価**することとなっています。